



平成 29 年度 第 2 回 JASDI フォーラム

『添付文書から考える 情報リテラシー』

—新記載要領への期待と、現状の活用と課題—

医療用医薬品の添付文書は、今年 20 年ぶりに新記載要領が通知され、平成 31 年 4 月以降新たなフォーマットで作成が始まります。

添付文書に記載されている情報、記載表現はこの 20 年間の医療の進歩に伴い多様化し、情報量も増えており、より理解し易く、活用し易い内容にするため新記載要領が通知されました。

添付文書は、医薬品の品質、有効性、安全性に関する必要最小限の情報が記載された医薬品情報リテラシーの基本ツールですが、記載できる情報には限界があり、また標準化、共通化など、添付文書を活用するには課題もあります。

本フォーラムにおいて、添付文書を活用されている各領域の先生のご講演と、意見交換を通じ、添付文書情報の現状と課題や標準化・共通化、そして今後の新記載要領への期待と情報リテラシーについて考えてみませんか。

《プログラム》

日 時： 2017 年 10 月 7 日（土） 13:30～17:00

主 催： 一般社団法人日本医薬品情報学会（JASDI）

会 場： 東京大学 薬学総合研究棟 2 階 講堂

<http://www.f.u-tokyo.ac.jp/~kyoumuk/kodo-access.htm>

〒113-8654 東京都文京区本郷 7-3-1

地下鉄丸の内線本郷三丁目駅（徒歩 10 分）

開会挨拶 13:30～13:40

座 長： 東邦大学医療センター大森病院 薬剤部 小園 幸輝

講演 1. 13:40～14:05

「添付文書はどのように変わる 医療用医薬品の添付文書 新記載要領の概要」

厚生労働省医薬・生活衛生局 医薬安全対策課 課長補佐 大久保 貴之 先生

講演 2. 14:05～14:30

「薬学教育における添付文書と情報リテラシー その課題」

名城大学薬学部 医薬品情報学研究室 大津 史子 先生

講演 3. 14:30～14:55

「添付文書情報をどのように届けるのか。提供方法の変遷と限界」

—情報を整える立場から—

（一財）日本医薬情報センター 事業部門 添付文書情報担当 池上 武司 先生

— 休 憩 —

講演 4. 15:10～15:35

「製薬企業くすり相談からみた添付文書情報の活用と現状」
大正富山医薬品株式会社 メディカルインフォメーションセンター 杉本 智香子 先生

講演 5. 15:35～16:00

「医療現場における情報リテラシー 改めて添付文書情報を考える」
東京大学医学部附属病院 薬剤部 大野 能之 先生

総合討論 16:00～16:50

「添付文書と情報リテラシー（活用と課題、標準化・共通化、新記載要領は）」
司会 一般社団法人日本医薬品情報学会フォーラム委員 浅田 和広

閉会挨拶 16:50～17:00 大野 能之（一般社団法人日本医薬品情報学会フォーラム委員長）

参加費：当日会場にてお支払ください。

日本医薬品情報学会	会 員	3,000 円
	賛助会員の社員	3,000 円（当日会社名を確認させていただきます）
	非会員	5,000 円
学 生		1,000 円

参加申し込み：

JASDI ホームページよりお申込みください。

<http://www.jasdi.jp/>

申し込み締め切り：平成 29 年 10 月 3 日（火）ただし、定員（140 名）に達した場合は途中で締切ります。

本フォーラムは、「医薬品情報専門薬剤師」の認定及び更新のため、(社)日本医薬品情報学会が指定する講演会です。

本フォーラム 1 回の出席、「受講証明書」をもって認定単位「5 単位」が、また「受講証明書と指定の研修レポートの提出（証明書）」をもって更新認定単位「5 単位」が取得できます。研修レポートの提出など詳細は、JASDI ホームページでご確認下さい。

希望者には、公益財団法人日本薬剤師研修センターの「認定薬剤師研修受講シール 2 単位」または「日病薬病院薬学認定研修単位シール」を配付致します（予定）。